

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0256-72-8129
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	区民が安心して安全な暮らしができるように災害に強いまちづくりを目指します。また、地域コミュニティ活動をさらに推進し、住民自治の深化を図ります。さらに西蒲区サービス憲章に基づき、働き方改革・業務改善の推進に取り組みます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				R4結果
1		超高齢社会へ対応し、誰もが安心して暮らし続けることができる西蒲区を築いていくため、将来にわたり持続可能な交通環境を構築します。	・西蒲区生活交通改善プランに基づく施策の実施	区バス利用者数(人)	14,475	13,717	13,328	13,500	13,069	・西蒲区生活交通改善プランに基づき運行内容見直しの検討、関係者協議や広報等を行うことで、利用者数の減少に歯止めをかけます。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は目標値を下回りましたが、区だよりでの周知を図るなど利用者増加に向けた取組を行いました。	未達成
2		「地域力・市民力」を活かし、地域コミュニティ協議会や自治協議会とのさらなる協働を推進します。	・区内コミ協を対象とした意見交換会の実施	意見交換会参加者の満足度(%)	71.6	69.3	75.8	75.0	84.1	9コミュニティ協議会合同のまちづくり懇談会においてアンケートを実施します。	令和4年6月に9つのコミュニティ協議会合同のまちづくり懇談会を実施しました。アンケートの結果、満足度(84.1%)と目標を上回り、参加者も令和4年度は83名で、令和3年度参加者71名に比べ12名の増加となりました。	達成
				意見交換を行うコミュニティ協議会数(件)	—	—	—	3	4	・コミュニティ協議会と個別に意見交換会を実施します。	11月に中之口、巻、峰岡、角田において、意見交換会を実施しました。	達成
3	3	安全で災害に強いまちづくりを進めるため、地域防災の次世代リーダーとなる中学生を対象に防災学習を支援し、自助・共助による地域防災力の向上を図ります。	・中学生防災共育サポート事業	実施中学校数	—	2	2	2	2	・参加中学生の防災関心度:80%以上	対象の2つの中学校の生徒に、防災への関心が高まったかとのアンケートを実施したところ、ほぼ全員が高まったとの回答を得ることができました。 湯東中学校: 100% 岩室中学校: 98%	達成
4		区内の文化施設及びスポーツ施設の適正な管理・保全に努めるとともに、活用を推進します。	・施設の利用促進	文化施設・スポーツ施設利用者数(千人)	369	232	323	300	308	・巻文化会館、中之口先人館等7施設 ・城山運動公園、西川総合体育館等26施設	巻文化会館が空調工事で閉鎖した期間がありましたが、施設利用者数は目標を上回ることができました。	達成
5		働き方改革・業務改善の推進に取り組みます。	・課内における改善提案の実践	改善実践件数	6	6	6	6	8		課内での業務改善として、グループミーティングの実施や鍵貸出簿の改善など8つの項目について実施しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>生涯にわたって安心して暮らし続けるためには日常生活における移動手段の確保が急務です。だれもが移動しやすく、持続可能な交通環境の実現に向けて、西蒲区生活交通改善プランに基づく施策を着実に実施します。</p> <p>人口減少をはじめとする様々な地域課題の解決に向け意見交換の場を充実させ、地域コミュニティ協議会や自治協議会と協働のまちづくりを進めていきます。</p> <p>安全で災害に強いまちづくりを進めるため、地域防災の次世代リーダーとなる中学生を対象に防災学習を支援し、自助・共助による地域防災力の向上を図ります。</p> <p>ウィズコロナ時代を見据え、適切な感染拡大防止策を講じながら施設を運営し、文化やスポーツに親しむ機会を提供します。</p> <p>職員一人ひとりが働き方改革や業務改善に積極的に取り組める環境を整え、常に市民サービスの向上を目指します。</p>	<p>区バスの利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標の数値に届きませんでしたが、生活交通の利便性の向上に向けて、引き続き西蒲区生活交通改善プランに基づく施策を実行します。</p> <p>地域コミュニティ協議会と区役所との意見交換会では高い満足度を得ることができました。今後も地域と区役所で協働してまちづくりを進めていくために地域コミュニティ協議会との意見交換の場を充実させていきます。</p> <p>2つの中学校の防災授業を支援し、生徒や教職員の防災意識の向上を図ることができました。引き続き、地域防災の次世代リーダーを担う中学生を対象とした防災学習の支援を行っていきます。</p> <p>文化施設・スポーツ施設については目標とした利用者数を上回ることができました。引き続き、多くの方から施設を利用いただけるよう、文化やスポーツに親しむ機会を提供していきます。</p> <p>課内における改善提案の実施については目標を上回ることができました。今後も働き方改革・業務改善を継続していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0256-72-8312
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	区民生活課
組織の目的	窓口業務全般について市民満足度向上のため、正確で迅速、的確、丁寧な行政サービスを提供します。国民健康保険事業については円滑に業務を遂行するとともに、収納率を向上させます。生活環境面については、ごみの減量と資源化推進のため、発生抑制、分別徹底の啓発を行います。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		窓口サービスにおける市民満足度を向上させます。	・窓口アンケートの実施(年1回) ・職員研修の実施	窓口アンケート平均点(点)	① 4.55 ② 4.64 平均 4.60	4.71	4.68	4.6	4.6	・5点満点 ・取り上げる項目は「説明のわかりやすさ」「接客態度」「手続きのわかりやすさ」「所要時間」「プライバシーへの配慮」の5項目	職員の接客態度や、手続方法等の説明で高評価をいただき、目標の点数を上回ることができました。	達成
2		市民ニーズに応えるため、業務改善を行います。	・職員からの改善提案と実施 ・市民からの要望・提案に対する改善の実施	改善実施件数(件)	13 (累計 72)	13 (累計 85)	18 (累計 103)	12	19 (累計 122)	・各係が3件以上の改善を実施(3件×4係)	市民サービスの向上や業務の正確性と効率化につながる改善に努めた結果、目標値を大幅に上回って達成しました。	達成
3		国民健康保険料の収納率を向上させます。	・高額未納者等に対する電話催告や文書催告 ・納付資力を踏まえた納付相談	西蒲区の2月末現在の国民健康保険料(現年分)収納率(%)	82.68 2月末現在	83.09 2月末現在	83.73 2月末現在	96.38 年度末実績	96.39	・収納率を年度末現在で前年度以上にします。	収納率を年度末実績で評価するため、目標値を前年度末時点の数値に修正しました。納付勧奨や相談を丁寧に行った結果、収納率は順調に推移しており目標値を達成できる見込みです。	達成
4		家庭ごみを減量させます。	・区役所だよりなど、広報活動を通じた啓発 ・自治会・町内会などに対し、ごみ分別や減量方法について助言・説明	1人一日当たりの家庭系ごみ量(グラム)	510	511	507	507	509	・ごみ量を前年度以下にします。 ・令和3年度実績値確定(令和4年9月9日付)	目標としたごみ量507g(収集ごみ分)は前年度を下回ることができませんでしたが、直搬ごみを含めた家庭系ごみの全体量(611g)は、前年度(620g)を下回ることができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>区民生活課は、市民と直接対応することが多く、市民生活に密着したサービスを提供しています。市民からの信頼と満足度向上のため、正確かつ迅速、的確、丁寧な行政サービスを提供するよう、職員一人ひとりのスキルアップを図り、市民目線に立った改善意識を持ちながら業務に取り組めます。</p> <p>国民健康保険料未納者に対しては、電話や文書での催告を確実にし、納付相談を促すことで収納率を向上させます。</p> <p>また、家庭ごみについては、コロナ禍による社会情勢、生活様式の変化により、家庭内需要の増加に比例してごみの発生量も増加する傾向にあります。西蒲区は他区に比べて一人当たりのごみ排出量が多いため、啓発活動などを通してごみの発生抑制と分別の徹底による減量化を推進します。</p>	<p>区民生活課は、市民応接の機会が多い職場であることを職員一人ひとりが自覚し、窓口サービスや市民満足度の向上に努めました。今後も窓口アンケートの内容や業務を遂行する中で日々いただくご意見などを踏まえ、市民サービスの更なる向上と業務改善を進めていきます。</p> <p>国民健康保険料については納付勧奨や相談業務を丁寧に行った結果、収納率は前年度を上回る見込みです。引き続き、納付資力など必要な調査を適切、確実にし収納率の向上に努めます。</p> <p>また、家庭ごみに関しては、コロナ禍で各家庭における生活環境の変化に伴い家庭内需要が増えたと考えられますが、排出量(収集ごみ・直搬ごみを合計した全体量)は前年度よりも減少することができました。これは、区だよりやホームページなどの広報活動を中心とした啓発、個別の事案に対する助言や指導をきめ細かく行った結果と考えています。今後も、発生の抑制や分別・再利用の徹底に向けた啓発を行うなど、ごみの減量化に取り組んでいきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0256-82-4111
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	岩室出張所
組織の目的	円滑な窓口サービスを提供するとともに、関係団体と協働で地域の活性化を進め、地域に親しまれ信頼される出張所を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		身近な行政窓口として、正確で丁寧なきめ細かい窓口サービスを提供します。	・研修を通じた職員の対応力の向上	各種研修への参加及び内部研修の実施(回)	2回/人以上 実施	2回/人以上 実施	5回/人受講	3回/人以上	9回/人受講	・各人の研修参加回数	受講研修名を共有できるファイルを作成し見える化した上で達成状況を管理しました。オンライン研修は窓口対応と並行して受けることが可能となり、受講機会が増えています。(出張所内受講可能。窓口対応可能)	達成
2			・様々な窓口業務に対応するための簡易マニュアルやお客様向け配付資料の整備、更新	窓口対応簡易マニュアル等の整備、更新(件)				5	18	・各種申請書受付、業務システム等	既存のマニュアルをより咀嚼する内容に更新することにより使いやすさを求めたほか(コロナ等感染人員減念頭)、個人で管理していたマニュアル(ポイント凝縮)も共有することにより、視点が多様化できました。	達成
3		コミュニティ協議会や自治会と連携を図りながら、身近な地域づくりを支援します。	・コミ協事業計画・運営の支援 ・各種地域イベントの支援	コミ協事業や地域イベント等の連携、支援	コミ協事業及び地域の伝統行事支援と観光イベント支援	コミ協事業及び地域の伝統行事支援	コミ協事業及び地域の伝統行事支援	コミ協事業及び地域の伝統行事支援	コミ協事業及び地域の伝統行事支援	・岩室地域コミュニティ協議会 ほか	コロナ禍でのイベント等開催に向け地域と連携し工夫を凝らしながら開催することができました。今後も、定着してきた対応策を踏まえて支援していきます。(矢川灯籠流し、岩室駅前イルミネーション等)	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
出張所は地域住民に一番身近な行政窓口であることから、正確で丁寧なきめ細かい窓口サービスを提供するため、研修を通じて職員個々の対応力を向上するとともに、迅速で正確な窓口対応のため、新たに、使いやすく、わかりやすい業務マニュアル等の整備、更新を行います。 地域の各種イベントについて、新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえた開催手法の検討や事業規模等の工夫なども含めて、各種団体と協力しながら、地域活動の実施に対する支援を行います。	それぞれスキルアップにつながる研修等を広く受講し、共有すべき内容については、所属内で伝達研修を実施しました。小規模出張所の窓口業務は限定されているものの内容が多岐にわたるため、さらに継続していく必要があります。 また、これまで担当者ごとに調製していたマニュアル整備についても、視覚的にだれが見ても一目でわかり、操作等が可能なマニュアルの整備が概ね完了(頻度の高い業務優先)しました。今後は、作成した一覧表(内容、設置場所、更新担当者等明記)を見える化し、最新の状態を維持していくことに合わせ、レアケースの蓄積、共有を課題として取り組んでいきます。 コロナ禍の対応を念頭に、地域イベント等の支援を行い、消毒、マスクの着用、参加名簿の作成等「新しい生活様式」との融合を図りました。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0256-88-3111

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	西川出張所
組織の目的	市民サービスの最前線として市民満足度の向上のため、丁寧、迅速、的確な窓口サービスを提供します。 コミュニティ協議会など地元団体との協働により、西川地域の歴史と伝統を生かした活気あふれるまちづくりを推進します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		市民満足度向上のため、出張所職員の資質向上と意識改革に取り組みます。	・窓口アンケートの実施	・窓口対応アンケート(年1回)	4.6	4.7	4.8	4.5	4.8	・5点満点のアンケートで評価 ・説明のわかりやすさ、接客態度、手続きのわかりやすさ、所要時間、プライバシーへの配慮の5項目を評価	アンケート結果 令和4年12月 平均点4.80点 窓口対応や接遇についての研修、資料配付を行い、職員一人ひとりが親切的な対応を行い、目標を達成しました。	達成
2			・研修を通じた職員の対応力の向上	・職場内研修回数	—	10	8	4	10	・職場内研修 ・ニュースの発行	正職員が日常の業務に役立つ資料を作成しミニ研修会を実施しました。10回 その他ニュース、補足資料を随時配布 幅広い業務に対する正職員の説明力向上、会計年度任用職員の知識、対応力が向上しました。	達成
3		内部事務の効率化・簡素化を推進します。	・職員改善提案 ・事務改善提案	・改善実践件数	8	7	9	4	11	・出張所で4件以上	職員間で提案、協議し、出張所で11件の改善を実施しました。 窓口対応用見本等改善4件、選挙業務2件、庁舎内改善3件、庶務改善2件	達成
4		コミュニティ協議会など地元団体と柔軟に連携しながら、地域が主体のまちづくりを推進します。	・西川まつり ・越後にしかわ時代激まつり ・その他地域行事	・西川まつり ・越後にしかわ時代激まつり ・地域団体の活動への協力支援	総合的に評価する。	総合的に評価する。	総合的に評価する。	総合的に評価する。	総合的に評価する。	・コミ協、関係機関との連絡調整 ・部会、実行委員会出席 ・広報支援・協力 ・開催運営支援・協力	地域の主要な行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていましたが、感染防止対策をしつつ再開され始めました。 西川まつり、越後にしかわ時代激まつり、自治会町内会連合会の講演会と研修会の実施、西川クリーン作戦など、地域の実施団体と協働し支援にあたりました。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
市民満足度の向上のため、出張所内研修や業務担当の枠を超えた意見交換等を行いながら出張所職員の資質を高め、市民の目線に立った効率的な行政サービスの提供、窓口対応・接遇に取り組みます。 業務や職場の改善に取り組み、内部事務の効率化・簡素化を推進します。 人口減少の続く中、地域が主体となったまちづくりが促進されるよう地域の取り組みを積極的に支援します。 行事実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、地域団体との情報共有、連携をしていきます。	小規模出張所の限られた人員体制で幅広い業務を担うため、所属内研修や意見交換等を行いながら職員の資質向上、市民の目線にたった窓口対応、接遇、改善実施に取り組むなど、西蒲区サービス憲章を実践し市民満足度の向上を目指しました。 コロナ禍で中止となっていた事業が徐々に再開され、地域に賑わいが少しずつ戻ってきました。地域コミュニティの活性化に向けて、出張所も地域コミュニティ協議会、自治会、町内会をはじめ各種団体と連携・協働し、地域が主体となった伝統行事や今後のまちづくりに向けた取組を支援していきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0256-86-3111

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区役所	組織名(準部・課・機関名)	潟東出張所
組織の目的	出張所業務の正確・丁寧・迅速な遂行を基本に、市民目線に立った行政窓口として市民の満足度を高めるサービスに努めます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		地域住民の災害時における対応や意識の向上を図ります。	災害時初動マニュアルを活用した自主防災組織の活動支援の実施	自主防災会組織による防災訓練の実施組織数	7	6	3	3	2	コロナ禍ではありますが、管内14自主防災会組織が3～4年に1回は実施するように働きかけます。特に過去の訓練状況を勘案した計画的な実施に向け働きかけを行います。	依然としてコロナ禍の影響で、防災訓練の実施組織数は2自治会となりました。その代わり、コミ協と協働で、避難所運営に関する会議を関係自治会長参集の上、開催することができました。避難所の配置・部屋割・役割分担など有意義な意見交換ができ、災害時の意識向上を図ることができました。	達成
2		地域コミュニティ協議会の事業に参画し、協働による地域の活性化を推進します。	コミュニティ協議会事業の支援 ・潟東おまつり広場(どろんこカップ) ・かもんカモノねぎまつり ・その他	各種事業への参画支援人数(人)	13	10	10	7	11	コロナ禍の中や出張所改革による職員数の減少はあるが、計画段階からの支援を図ります。	コロナ禍の関係で3年ぶりの開催となった地域イベントに、実行委員会・開催当日の支援・反省会への出席など、積極的に参加し支援を行いました。	達成
3		市民満足度を高めるために職務遂行能力の向上と事務効率を図り、併せて事務改善及び着眼点を高めるため取組みます。	・職場内研修 ・研修会参加及び情報共有化	正職員、再任用職員、会計年度任用職員で各自の業務の職場内研修実施回数(回)	7	7	7	5	7		職員のスキルアップと業務に関する情報の共有化を目的に、業務主任職員が講師となり、年金保険関係、選挙事務関係など職員相互の職場内研修を計画的に実施しました。	達成
4		市民満足度を高めるために職務遂行能力の向上と事務効率を図り、併せて事務改善及び着眼点を高めるため取組みます。	・事務改善提案 ・職場環境改善提案など	改善提案件数(件)	4	4	3	2	2		業務改善意欲と改善視点の向上及び業務の効率化の観点から、積極的に提案を受け、選挙事務に関する改善や窓口待ち時間の有効活用など、改善・実践しました。	達成

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>コロナ禍の中での防災意識を高めるため、関係機関及び区役所と連携し自主防災組織への支援を行い、災害に強い地域づくりを自治会等と協力して取組みます。</p> <p>地域活動の中核となるコミュニティ協議会の活動を引き続き支援するとともに、コミュニティ協議会の自主性・自立性を高めながら積極的に支援していきます。</p> <p>市民の視点に立った丁寧・親切・迅速な窓口対応を実施するため、職員各自の業務などの情報の共有化と研修会などで得た知識・情報も共有し業務の向上を図るとともに、職員各自が講師になることによる研鑽にも取り組めます。</p> <p>市民満足度の向上や職場内環境の改善を図るとともに、積極的な改善の着眼点を高めるため改善提案を推進していきます。</p>	<p>非常時に備え防災訓練を継続的に2自治会で実施することができました。今後も防災訓練の実施状況などを把握し、自主防災組織との連携・支援に取り組んでいきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の関係で中止されていた地域イベントが3年ぶりに開催され、コミュニティ協議会や連合自治会等の自主性・自立性を尊重しながら支援することができました。コミュニティ協議会や連合自治会との協働は非常に重要であり、今後も継続して支援してまいります。</p> <p>窓口業務における市民満足度を高めるため、職員各々の職務遂行能力の向上や業務改善など改革意識を高めることができました。今後も職場内での業務等の情報の共有化と職場内協力体制による活性化に継続して取り組んでいきます。また、業務改善による業務の効率化も併せて取り組んでいきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-375-2712

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	中之口出張所
組織の目的	市民の身近な行政窓口として、親切・丁寧で迅速・正確な行政サービスの提供を目指します。自治会やコミュニティ協議会の活動を支援し、地域の活性化を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目達達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		行政サービス提供における市民満足度の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 西蒲区サービス憲章の実践 窓口アンケートの実施 ビジネスフリースの習得 	窓口アンケート平均点(点)	4.73	4.86	4.65	4.74	4.7	過去3年間の平均点を上回る	電話対応について内部研修するなどして前年を上回る評価点を得ることができました。	達成
2			<ul style="list-style-type: none"> 各種業務研修の受講 職場内研修の実施 対応できる事務分掌のスキルアップ 	主業務以外の内部研修		2	2	2	2	前期、後期に各1回	前期に、中之口出身の初代東映社長の大川博氏の足跡を新潟文化記憶館発行の資料をもとに内部研修しました。後期は、新潟県交通災害共済の加入と見舞金申請について内部研修を実施しました。	達成
3		地域コミュニティ協議会及び地域活性化につながる市民活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ協議会主催事業への人的支援 自治会への支援 地域イベントや事業への参加 	各事業への人的支援人数		6	15	6	9	コミ協支援	中之口まつりの日程が、他の事業と重なったが勤務を調整して支援を行いました。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>区役所改革に対応できる人材の育成に努め、西蒲区サービス憲章を実践することで出張所利用者の満足度の向上を図ります。</p> <p>また、持続可能なまちづくりを進めるため、コミュニティ協議会・自治会の担い手の育成・支援に努めるとともに、地域のことは地域で考え解決できる土壌づくりを支援します。さらに、出張所管内の各種団体が、協働して祭りや防災活動など地域事業に取り組めるよう、情報共有を図りながら効果的な支援に取り組んでいきます。</p>	<p>限られた人員体制であるが、身近な行政窓口として幅広い知識と市民目線にたつて、利用者の満足度向上に向けたサービス提供を目指していきます。</p> <p>マイナンバー出張申請やワクチン接種の申し込みには、特に丁寧な対応に努めました。今後とも持続可能なまちづくりを進めるため、コミュニティ協議会・自治会・関係団体との連携に努め、地域課題の解決につながるような支援を行っていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0256-72-8345
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支え合うしくみづくりを構築するとともに、健康に対する区の課題解消に向けて生活習慣の見直しにつながるよう取り組んでいく。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		関係機関と連携し、安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた取り組みを行います。	にしかんハートメールを活用し、民生委員・児童委員や自治会長、福祉関係者等に緊急情報・福祉情報を発信 <R4.4.1時点の登録:199人>	にしかんハートメール発信回数(回)	15	16	19	20	13	健康づくりやワクチン接種に関する情報をにしかんハートメール登録者へ配信	健康づくりやワクチン接種に関する情報のほか、特殊詐欺への注意喚起や停電、断水の情報など、地域住民に密接な関わりのある情報について発信を行ってきたが、目標としていた発信回数には達しなかった。	未達成
2		子育てへの不安や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み育て、子育てを楽しむことができる環境づくりを進めるとともに、子どもの健やかな育ちを支援します。	子育て支援に関する各種講座の実施 ・NPプログラム ・BP1・BP2プログラム ・ミュージックセラピー ・いのちの誕生・思春期教室	以下の講座参加者合計が前年度以上 ・NPプログラム(単位:人) ・BP1、BP2プログラム(単位:組)	10(人)	36(人・組)	48(人・組)	51(人・組)以上	41(人・組)	【開催予定回数】 ・NP:1講座6回 ・BP1:4講座(1講座4回) ・BP2:1講座(1講座5回) (※定員60人の85%) ・ミュージックセラピー:全11回(5月~3月の毎月1回) ・いのちの誕生・思春期教室	【開催回数と参加者数】 ・NP:1講座6回...8名 ・BP1:3講座(1講座4回)...4講座、25組 ・BP2:1講座(1講座5回)...8組 定員10に対し、NPとBP2は8割、BP1は6割の参加 ・いのちの誕生 小学校3校、思春期教室 小学校8校中学校4校(区づくり予算では3校実施)理解度80%以上であった。	一部未達成
3		地域包括ケアの進展を図るため、支え合いの仕組みづくり推進員や地域包括支援センターなどと連携して住民主体のサービス等を創出します。	日常生活圏域の各圏域において、地域の茶の間及び住民主体の訪問型支援サービスを創出	年度内に新規創出する件数(件)	6	2	0	3	3	・地域の茶の間(月1回開催のもの含む)と住民主体のサービスの新規創出、合わせて3件	・西川圏域で月1回開催の「地域の茶の間山サロン」が新規に開設(R4.10)。 ・湯東圏域で住民主体の生活支援を行う「五の上ささえあう会」が創設(R4.10)。 ・中之口圏域でご近所同士が支え合い助け合う「東門田ご近所同士の支え合い助け合い」が創設(R4.8)(当面は緩やかに運営したいとの意向から規約作成や行政支援は受けないとのこと。)	達成
4		区民自らが健康を意識し、生活習慣の改善に向けた行動ができるよう、健康寿命延伸のための健康づくりに取り組みます。	子どもからお年寄りまで各年代向けに、にしかん健康プロジェクトや健康寿命延伸事業を実施します。	生活習慣病予防に関する地域での健康教室等の延べ参加者数、ウォーキング記録提出者数(人)	3768	3860	3625	3625以上	4259		健康教室等:123回 3542人 食推活動:22回 228人 運推活動:19回 344人 ウォーキング手帳提出者:145人 プロジェクト専用サイトに、野菜のレシピ等動画を4本掲載。	達成
5		園や小・中学校、地域と連携し、各年代向けにお口の健康の大切さを周知します。	お口の健康に関する教育等の延べ参加数、園・学校での周知数(人)	555	550	375	375以上	376		健康教室5回82人 園・支援センター3回36人 小中学校7回258人。 ※実施実績はほぼ昨年度と同様。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>平成30年度から、緊急度の高い情報を民生委員・児童委員はじめ自治会・町内会長や福祉関係者に迅速に発信するため、「にしかんハートメール」を運用しています。今年度も新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ、健康・福祉に関する情報のほか緊急情報を迅速かつ効率的に発信していきます。</p> <p>子育て支援について、初めて赤ちゃんを育てる母親を対象としたBPプログラムや育児に不安を感じている母親を対象としたNPプログラムを通して育児への不安や孤立感の軽減など、子供を産み育てやすい環境づくりを進めています。</p> <p>地域の茶の間の間及び住民主体の訪問型生活支援について、支え合いの仕組みづくり推進員と連携し、自治会等地域に働きかけを行いながら新規開設を目指します。</p> <p>健康づくりに関する課題として、西蒲区は運動習慣を意識する人が少なく、塩分摂取が多い、また子どもの虫歯が多いという地域特性があります。子どもからお年寄りまで各年代向けに「栄養」「体操」「お口の健康」についての各種健康教育や健康講座を実施します。ウォーキングチャレンジなど体験型の事業を通して、区民自らが生活習慣の改善に向けた行動変容を促すとともに、ホームページの専用サイトに区の健康課題や健康づくり事業について広く周知します。</p>	<p>ハートメールは、ワクチン接種など健康に関する情報のほか、特殊詐欺への注意喚起、大雪、断水等に関する情報など生活に関連する情報を発信し周知を図ってきましたが、他業務に時間を割かれたこともあり、目標に達しませんでした。</p> <p>子育て支援にかかる各種講座は、感染対策の観点から定員を10人(組)として実施しましたが、BP1の参加者が定員の6割と、一部未達となったものの、参加者からの満足度も高く、子育ての不安解消や親同士のつながり創出につながることであります。また、指標としては設定していませんが、ミュージックセラピーやいのちの誕生・思春期教育など子供の育ちを支援する事業を実施し、豊かな成長を支援する取り組みを行いました。</p> <p>地域の茶の間の間は、月1回のサロンが1か所開設されたほか、住民主体のサービスが2か所創設されるなど、住民のつながりの維持や助け合い・支え合い体制を推進することができました。引き続き、支え合いの仕組みづくり推進員と連携して取り組んでいきます。</p> <p>健康寿命延伸については、健康教育やウォーキングチャレンジなどを実施し、昨年以上の参加があったほか、コミ協や自治協主催の事業において、「野菜のレシピ」や「にしかんみんなの体操」を活用した体験型の事業を実施しました。野菜のレシピ投票等では子育て世代など若い年代の参加が多かったことから、今後も「参加」「体験」「定着」といった住民参加型の事業を実施していきます。</p> <p>歯科保健(お口の健康)では、事業実施数、参加者数ともに前年と同程度となり、目標を達成しました。継続的な周知啓発が重要であることから、小中学校や地域の要望に合わせながら健康教育を継続実施していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0256-72-7100

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	巻地域保健福祉センター
組織の目的	乳幼児から高齢者まで、障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支え合うしくみづくりを目指すとともに、健康管理に対する意識の醸成を図りながら、健康寿命の延伸につなげる健康づくりを推進していきます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		地域の健康課題や健康管理を含む意識の醸成を図り、改善に向けて地域で支え合うしくみづくりを推進します。	・コミ協と地域の健康課題や改善に向けて実践していることを共有する。	地域の健康課題や改善に向けて実践していることを共有した割合(%)	-	-	-	100	100	・9コミ協(巻・漆山・峰岡・松野尾・角田・岩室・西川・潟東・中之口)	・全てのコミ協を保健師が訪問し、地域の健康課題の改善に向けての取組について、聴取し共有した。	達成
2		妊娠期からの切れ目ない支援を行うことにより、母子が地域で健やかに子育てができるようにします。	・産科医療機関、関係機関と特定妊婦等の支援方針・方策を検討し、支援プランを作成する。 ・特定妊婦に対して、妊娠中から訪問や電話などで相談支援を行う。	特定妊婦に対して訪問や電話等で相談支援を行った割合(%)	-	100	100	100	100	・特定妊婦等について、産科医療機関や関係機関と情報共有し、適切な支援方法を検討する。 ・特定妊婦全員の状況や意向を妊娠中に確認し、適時の相談支援を行う。	・特定妊婦32人全員に妊娠中から支援実施 ・課内関係部署との会議:毎月実施、実32人延122人 ・区内医療機関との情報交換会:年5回実施(コロナのため1回中止)実19人、延40人 ・区外産科医療機関と検討会での連携:実2人	達成
3		健康寿命延伸をすすめるため、成人・高齢者に対して、フレイル予防として健康づくり活動を普及啓発します。	・高齢者健康相談会 ・依頼健康教育 ・依頼健康相談	高齢者健康相談等を実施した団体に対して、フレイル予防の内容を周知した割合(%)	-	-	57.1	85	100	・高齢者健康相談会等において、フレイル予防として健康づくりへの活動(運動・栄養・口腔)を普及啓発する。 ・区民が自身の健康状態を確認できるよう特定健診のPRを行う。	・フレイル予防についての周知:高齢者健康相談会実施34団体全てに延45回、558人に実施。その他、地域の茶の間・コミ協健康づくり教室で全16団体、延18回、299人に実施。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>西蒲区は高齢化率が市内で一番高く、健康寿命の延伸及び介護予防が重要な課題となっています。多くの高齢者はフレイル(心身の機能が衰えた状態)を経て要介護状態になると言われており、国も令和2年度より後期高齢者健康診査にフレイルに関する問診票を導入する等フレイル予防に力を入れています。</p> <p>西蒲区においても、区民が自身の健康状態を確認し、新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐ新しい生活様式やフレイル予防を実践できるよう普及啓発を行います。</p> <p>また、西蒲区の出生数は減少傾向ですが、出産年齢の高齢化や疾病がある、支援者がいないなどのリスクを抱える妊婦の割合が約6割に増加しています。妊産婦が安心して安全に出産・子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるよう、妊娠中から関係機関と連携し、切れ目のない支援に取り組めます。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い人の集まりが制限されたため、感染症予防に努めながら母子の孤立予防、高齢者のフレイル予防に重点をおいて継続して取り組みました。</p> <p>・地区組織であるコミ協と連携し地域の健康課題などコミ協の活動を共有しました。今後も住民自らが健康寿命の延伸や介護予防の取組につなげられるように継続してすすめていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0256-72-8407

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	産業観光課
組織の目的	産業観光に関わる行政サービスを迅速・的確かつ丁寧に提供し西蒲区の魅力アップを進めます。 にしかん なないる野菜による新たな産地づくりを支援していきます。また、持続可能な農業を目指し、担い手の強化・育成を図るとともに、農地の環境保全を推進していきます。 アフターコロナを見据えながら、ウイズコロナに対応した区の魅力を多方面に発信するとともに、近隣地域と連携した交通手段の整備と県内外での知名度向上施策を展開し、具体的な誘客促進に取り組み地域経済の活性化を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績			補足・参考指標
1	1	「もうかる農業」の実践にむけた、新たな農産物等の産地化を実現します。	にしかん なないる野菜について・販路拡大のため、飲食業者との定期的な取引と飲食業者向けイベントの開催又は参加	飲食業者において定期的な取引(取引回数5回以上)を行う店舗数	-	-	-	5	5	・野菜の配送費を補助するなどして飲食業者へ販路拡大し、産地としての地盤を強固なものとしていきます。	送料補助を実施し、飲食店をはじめ、食品流通・加工業者へも積極的に商談を行い、販路開拓に努めました。	達成
				販路拡大のためイベント開催・参加(件数)	-	3	3	3	3	4	・コロナ禍であっても西蒲区のみならず、他区や周辺市町村の飲食業者向けのイベントを開催又は参加し、新規販路開拓につとめ需要を喚起します。	なないる野菜販売フェア(2日間)を開催し、わらアート西蒲市場・食花マルシェ・フードメッセに参加。4件のイベントの開催・参加により、目標を達成しました。棋聖戦、街歩きなど様々なイベントとコラボし認知度向上を図りました。
2	1	農地の持つ自然環境の保全、良好な景観の保持等の多面的機能を維持向上させるため、農地の維持活動を通じて、地域資源の適切な保全管理を推進します。	・多面的機能支払交付金	農地維持活動取り組み面積率(%)	(93.6)	(93.6)	93.5	93.5	93.6	・多面的機能支払交付事業…農地が持つ水源の涵養、自然環境保全など多面的機能が近年、機能の発揮に支障が生じつつあるため農地の適切な保全管理を行う地域を支援します。 ・指標算定方法:多面的機能支払交付金の農地維持活動取り組み面積÷農地維持交付金算定対象農用地面積	農地転用が判明し、4組織の面積に変更(減)が生じましたが、取り組み面積率93.5%の目標を達成しました。 (R4:7558.91ha÷8074.11ha=93.6%)	達成
3	2	交通拠点である新潟空港・新潟駅からの二次交通やにしかん地域の観光スポットを結ぶ三次交通などを通じて県内外からの誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。	・新潟ウエストコーストラインの運行 ・にしかん観光周遊バスの運行	ウエストコーストラインの利用者(人)	238	75	185	240	334	・二次交通(新潟ウエストコーストライン)・三次交通(にしかん観光周遊ぐる〜んバス)の利用促進を図るために県内外でのプロモーション活動や乗車イベント企画を積極的に実施します。 ・三次交通においては収支率目標20%。	関西・中京圏で関係自治体や観光協会、航空会社と連携して4回プロモーションイベントを実施しました。そのほか各種商談会や広告媒体、Web等を活用した広報戦略の結果、利用者増につながり目標を達成しました。	達成
				にしかん観光周遊バス利用者(人)	1,144	1,998	2,032	2,900	3,263	・新たなプロモーションツールを作成し、観光展やイベント等で配布しました。また、二次交通と併せてエージェントセールスを実施したほか、SNSやメディア等でPRを行った結果、利用者及び収支率29.5%と目標を達成しました。	モデルコースの冊子を作成し、観光展やイベント等で配布しました。また、二次交通と併せてエージェントセールスを実施したほか、SNSやメディア等でPRを行った結果、利用者及び収支率29.5%と目標を達成しました。	達成
4	2	アフターコロナを見据えながら、ウイズコロナに対応した魅力的な観光コンテンツを洗い出し、磨き上げることで地域の魅力を高め、新たな魅力を発信することで、交流人口の拡大を図ります。	家族や小グループをターゲットに岩室温泉を中心とした地域の魅力を伝えるプロモーションツールの作成及びそれらを活用し、ネット・SNS・イベント・エージェントセールス等で発信	新たなプロモーションツールを活用した地域の魅力発信をした回数				5	9	・新たなプロモーションツールを作成し岩室温泉を中心とした地域の魅力をSNS等で発信します。 ・新たなプロモーションツールを活用し、観光プロモーションや旅行エージェントセールスを積極的に実施します。	新たなプロモーションツールを活用し、Webを中心とした魅力発信を9回行い、西蒲区の認知につなげたほか、西蒲区のブランドイメージの醸成を図りました。	達成
				新たなプロモーションツールを活用したエージェントセールス等実施回数				4	5	・春の旅行商品造成のスケジュールに合わせて、1月から2月の2カ月間で5回エージェントセールスの実施により目標を達成しました。	春の旅行商品造成のスケジュールに合わせて、1月から2月の2カ月間で5回エージェントセールスの実施により目標を達成しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>米に代わる高収益作物の導入を推進していく中で、「にしかん なないる野菜」の更なるブランド化を進めるため、コロナ感染状況によりR3年度に開催できなかった飲食業者の園地見学、販売促進イベントや市民参加の収穫体験等を企画し、栽培農家には、県普及指導センターや区内の学校等との連携や他産地視察や研修会の開催により、栽培技術の向上を図ります。また、飲食業者への配送費補助等、販路拡大のための具体的な足掛かりとなる事業を実施していきます。</p> <p>・農業者の高齢化が進む中、離農者増加による中心的担い手の不足から、農地の引き受けでも不足し、遊休農地化により支障が生じつつあることが懸念されています。農地が持つ機能の発揮に向け、地域の合意形成を図りながら、農地の適切な維持活動を推進していきます。</p> <p>・未だ影響を受けている観光業等について、効果的な事業継続のための支援を引き続き実施するとともに、個人旅行者や小グループをターゲットに誘客を行い統一したブランディングでコト消費を楽しめる西蒲区の魅力を伝え誘客につなげます。</p>	<p>・「にしかん なないる野菜」については、飲食業者への販売を重視し、配送費補助の実施により、定期取引につなげ、またマルシェなどに積極的に参加することにより販路開拓に努めました。引き続き、様々なイベントに参加しつつ、事業者や学校等との連携した取り組みを実施することで販路拡大につなげていきます。</p> <p>・農村地域が持つ国土保全など多面的機能について、地域の活動組織が共同で取り組む地域活動に対して支援を行いました。地域の共同活動を通じ、農村環境の保全を進めることにより、多面的機能が今後も適切に維持・発揮されるよう取り組みを進めます。</p> <p>・観光業は回復傾向にはあるものの、未だ影響を受けているため、効果的な事業継続のための支援を引き続き実施するとともに、個人旅行者や小グループをターゲットに誘客を行い、インパウンドの回復も見据えコト消費を楽しめる西蒲区の魅力を伝え誘客につなげます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0256-72-8507
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西蒲区	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	区ビジョンまちづくり計画に基づき、道路や公園などの整備と維持管理を通じ、生活の基本である安心・安全で快適な住環境の充実に努め、区民の満足度の向上につなげます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		前期の工事等の発注率を高めます。	・道路、水路、公園等整備工事及び維持工事の発注	4～9月末迄の工事等発注率(%) (※発注件数÷当初予定件数)	86.6	91.0	92.0	92.0	93.7	・経費執行何ベース ・地域性(農繁期工事不可あり)を勘案し目標設定	事業の平準化と地域要望の早期完遂を実現するため、計画的に工事等を発注し、事業の進捗管理に努めたことで目標を達成することができました。 ※当初計画件数63件、早期発注件数59件	達成
2		地形等の要因で道路冠水が想定される箇所のうち、特に通行障害が見込まれる箇所の事前点検等を行い、道路交通の安全確保に努めます。	・高速道路下の横断ボックス内排水ポンプ等施設の点検パトロール ・道路冠水想定区域内の施設の不定期点検パトロール	点検パトロールの実施数(回)	24	24	24	24	24	・月2回 ・梅雨期及び秋雨期点検他	定期的なパトロールや気象情報に基づく臨時パトロールを実施し、排水ポンプや電気施設等の不具合、障害の有無などの確認に努めたことで、目標を達成することができました。	達成
3		市民の憩いの場である公園について、照明の不点灯などの施設の損傷発見と対応に努めます。	・公園照明台帳の作成	公園照明台帳の作成率(%)	—	—	30.0	60.0	65.1	・公園照明の不点灯などの事象に合わせて、順次台帳を作成・保管 ・R3～R5年度までの3か年計画の2年目 ・照明設置公園:43公園	定期的な夜間パトロールで照明施設の不具合や老朽化の状況を把握するとともに、3か年計画の進捗管理に努めたことで、目標を達成することができました。 ※照明設置43公園、照明台帳作成済28公園	達成
4		職員の能力・資質向上を図ります。	・土木職員研修 ・市役所職員研修 ・その他専門研修等 ・課内研修報告会等	研修派遣 延員数(人) 開催回数	118 12	120 12	120 12	120 12	145 12	・各種技術関連研修他 ・各係年3回以上	職員が技術研修会等へ参加できるようにスケジュールを調整し、知見の取得や能力向上を図り、目標を達成することができました。 また、これによる情報共有のための報告会等も併せて実施しました。	達成
5		身近な地域づくりや将来のまちづくりについて意見交換の場を設け、地域課題の解決につなげていきます。	・都市計画に関する制度等についての周知	— 検討の場づくり開催	—	—	勉強会の開催(住民向け:全9地区)	勉強会の開催(事業所向け)	勉強会の開催(事業所向け)	・勉強会開催のための体制構築 ・第2回勉強会のメニュー検討	各事業所と入念に日程調整を行い、都市計画勉強会を開催し、目標を達成することができました。 ※開催日:R5年3月14日 参加事業者:12社	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域要望の早期完遂を図るため、事業の平準化に仕組みながら前期の工事等発注率を高めます。 ・市民の安心安全を確保する道路や水路及び公園等の維持・点検パトロールを継続実施することで満足度の向上に努めます。 ・公園照明台帳を整備し適正に管理することで、市民から安心して公園を利用していただける環境づくりに努めます。 ・効率的で丁寧な業務遂行につながる職務遂行能力の向上に必要な研修等に参加し、そこで習得した知識等の共有を職員間で図り資質向上を図ります。 ・身近な地域づくりや将来のまちづくりについての検討を進めるため、都市計画に関する制度等の事業所向け勉強会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事等の早期発注は、事業の平準化や働き方改革にもつながるもの。今後も地元住民との意思疎通を深め、さらなる市民サービスの向上に努めます。 ・点検パトロールや公園照明台帳を作成したことで、事故等を未然に防止し、施設の長寿命化や適切な維持管理を進めるための土台を形成することができました。今後も点検パトロールを実施するとともに照明等施設台帳の整備に努めます。 ・目標のとおり職員研修を開催することができました。今後も研修テーマに工夫を凝らすなど、職員の能力・資質向上に取り組んでいきます。 ・「都市計画制度勉強会」と題して、都市計画の仕組みや開発許可基準等に関する事業者向けの勉強会を開催し、都市計画制度の分かりにくい点や事業者が抱える課題等も把握できました。今後も、制度の見直しや変更等に合わせて勉強会を開催し、地域の理解を深めていきます。